

ふうせんかずらの活動報告と今後の予定

10月の里親月間の活動(4か所5日間)を無事に終了いたしました。921部の里親制度に関するチラシを配布できました。10/22(水)にはZOOM相談会。を実施1組の市民の方の参加がありました。

12/20(土)に相模原市緑区合同庁舎4階で実施する、里親制度説明会に向けて、11/19(水)～11/28(金)まで相模原市緑区合同庁舎1階のエントランスホールにて里親制度についての啓発展示を致しました。

2025年度2回目のこどものための里親活動をしている方からのお話し『里親体験談』のご案内です。
以下のチラシの内容をご覧ください。

相模原市委託事業

相模原市里親養育包括支援センター主催

子どものための

里親による 体験談

DVDによる制度説明。

口頭による里親制度説明。

2名の里親さんからお話しを聞けます

日にち

2026年

2月8日
(日)

時間

午前10時~

12時

(開場 9時半)

申し込みは事前に下記メールまで

(QRコードでも読み取れます)

minami-satooya@chusinkai.jp

①住所(相模原市〇区)

②参加代表者の氏名(ふりがな)と参加人数

③電話・携帯の番号またはメールアドレスを記載下さい。

申込み締め切り

2月5日(木)

里親の種類

長期委託

数か月から数年にわたり生活を共にする。

短期里親

(さがみフレンドホーム)

児童養護施設などで生活する子どもを週末預かる。

養子縁組里親

養子縁組によって親となることを希望する里親。

問い合わせ先 相模原市里親養育包括支援センター 「ふうせんかずら」まで

〒252-0231 中央区相模原5-1-20 南栄ビル402

電話 042-704-8433 (平日・土日・祝日 午前9時~午後6時)

苦情報報告(2025年4月)

保護者より以下の内容の苦情を頂きました。

＜申し立て内容＞

畑から伸びている木や雑草にカメムシがついてしまう。定期的に草刈りをして欲しい。

⇒定期的に畠の草刈りを行うようスケジュールを組みました。

ご寄付お礼【2025年7月～9月】

株式会社 セクメット瀬戸 誠 様／金 徳信 様／豊浦 正道 様／
株式会社 ミヤタ 代表取締役 宮田 雅信 様／門倉 松雄 様／
株式会社 ノジマステラスポーツクラブ 様／長谷川 貴美子 様／
株式会社 ザ・シティ相模大野店 様／株式会社 MOTTERU 様／
川越 二郎 様／日本ロードマーク 株式会社 様／株式会社
三景 代表取締役 角谷 豊人 様／株式会社 Gen Mark
Corporationサンラッキー相模原店 様／会田 吉美 様／一般社団
法人 神奈川県養豚協会 様／内藤 彰信 様／横浜幸銀信用組合 様
いつも熱いご支援、ありがとうございます。

発行日:2025(令和7)年12月10日(水) 発行責任者:曾我幸央
行:社会福祉法人 中心会 相模原南児童ホーム
252-0326 相模原市南区新戸905-1 TEL:046-251-5590
URL <https://sagamihara-minami.chusinkai.net/>
mail:sagamihara-minami@chusinkai.jp

相模原 南児童ホーム通信



意見表明等支援事業が始まります

相模原南児童ホーム 所長 曾我 幸央

子どもの権利条約、児童福祉法改正に踏まえて、社会的養護を必要とする子どもの意見表明を支援し、権利擁護を推進するために、今年度より「意見表明等支援事業」が相模原市でも始まります。

「意見表明等支援事業」とは、こどもたち自身の意見や希望を表明し、それが適切に反映されるように支援することが目的となっています。

また、意見表明等支援員(子どもアドボケイト)と呼ばれる第3者の専門家がその重要な役割を担っています。

子どもたちが、意見や希望を表明し、施設生活の中に反映させていくことは、施設で生活する子どもたちにとって、とて

重要なことですが、表明された意見や希望に対して、こどたちと職員が話し合う時間が今まで以上に増えること注定されます。

一方で職員の人材確保が全国の施設で課題となっている今、職員の業務負担も年々増えているのが現状です。人材確保の取組みの一環として、インスタグラムに施設の情報をインスタントに発信したり、「1DAY乳児院、児童養護施設見学ツアー」の定期的な開催、インターフィードの随時受け入れ様々な取組みも始めています。

こどもたちの最善の利益を実現するためには、こどもたち養育する職員の確保が最大のテーマとなっています。

座間神社で七五三のお祝いをしました



11月9日(日)、今
の七五三は予報通
朝から雨がしとし
降っており、足下も
配していました。
かし、神社に向か
頃には雨が上がり
、座間神社の階段
みんなで一段一段

上がることができます。

今年は7歳女の子、5歳男の子2名、3歳女の子、4名が祝い着でお祝いをしました。

当日は相模原南地区更生保護女性会の皆様がヘアメイクと着付けを、NPO法人おもいでぼっくすの皆様に写真撮影をしていただきました。心より感謝申し上げます。

着物や袴姿の子どもたちは緊張気味。最初は表情も硬かったのですが、カメラマンの皆様が、子どもたちに優しく声をかけてくださいり、さらながらモデルさんのように、たくさんポーズをとっていました。普段で





子どもたちの生活の様子

職員だより

多摩動物公園に遠足に行きました



10月6日(月)、乳児課8名で多摩動物公園に遠足に行きました。前日から、今年遠足2回目のお子さんは去年購入したお土産を見て「タイガー!」と言って楽しんでいました。動物園ではキリン、ゾウ、ヒョウ、などの様々な動物を近くで見る事ができ子どもたちは大興奮でした。ライオンバスではお昼寝中のライオンを近くで見る事ができ、迫力がありました。子どもたちの中には「ガオー!」とライオンの物真似をしている子もいました。動物たちに手を振ったり、一緒に写真を撮ったり、「やっほー!」と声を掛けてみたり、おやつにはソフトクリームを食べたり、とても楽しんでいる様子でした。たくさん歩き、昼食もお腹いっぱい食べ、遊び疲れたのか帰りの車ではみんなすぐに夢の中へ入っていました(^^)

(乳児課 三井)

ハロウィンを行いました

10月31日(金)に乳児課でハロウィンを行いました。子どもたちはサルやクマ、ウマ、人気キャラクターなど、思い思いの仮装をして参加しました。事務室や食品管理庫、医務室、心理療法室を順にまわり、「トリック・オア・トリート!」と言える子は元気に言いながらお菓子をもらいました。仮装して待っていてくださった職員の方々もあり、子どもたちは少し驚いたり泣いてしまったりする姿もありましたが、最後にはしっかりとお菓子を受け取っていました。中には仮装にも動じず、笑顔でお菓子をもらう子の姿も見られました。もらったお菓子はかぼちゃのバケツに入れて大切そうに持ち歩き、「これもらつたよ」と嬉しそうに見せてくる姿もありました。園内が温かい雰囲気に包まれ、子どもたちにとって楽しい思い出になるハロウィンになりました。(乳児課 鈴野)



ミカン狩りに行きました



11月8日(土)に子ども部会の行事で伊勢原にある「あかざと園」さんへみかん狩りに行きました。暑くもなく寒くもなくみかん狩り日和となりました。あかざと園さんは昨年もお世話になっていた

場所だったこともあり、子ども達も出発前や車の中でも楽しみにしている様子が見られました。子どもたち同士で「これ甘そう!」や「このみかんめっちゃオレンジ色だからおいしいよ!」と会話をしながら思う存分みかんを獲り食べてお腹を膨らませていました。職員もみかんを狩ろうと楽しみにしていましたが、子どもたちが次々と「これ甘いよ!食べて!」や「これあげる!」と笑顔でたくさん渡してくれたので子どもたちからもらったみかんでお腹がいっぱいになってしましました。子どもたちの笑顔がたくさん見れた1日となり今後もこういった子どもたちが楽しめる行事を子ども部会でたくさん企画していきたいと思いました。(児童課 関)



駅伝大会で走りました



毎年秋の時期に、神奈川県内の児童福祉施設による駅伝大会が行われます。女子部門は5人1チーム、児童部門は6人1チームで組みタスキを繋ぎます。今年も11月に駅伝大会が開催され、南児童ホームからも1チームずつ参加しました。職員もチームに加わり、子どもたちと一緒に走りました。

当日に少しでも良いタイムで走れるよう、施設周辺の田んぼ道や河原沿いを走り体力をつけています。走ることは他の運動よりもとてもきついですが、意欲高く参加してくれる子どもたちの熱い気持ちに職員も心を動かされ、子どもたちの為にと職員も一緒に走り、練習に励みます。

本番のコースはほとんどが上り坂で、普段の練習では平坦でしか走ることがないためとても苦しく、本番で走り終えると「もう来年はやらない!」と言う児童がほとんどです。ですが結果を見ると、去年よりもタイムが縮まっていたり、初めて参加したけれど思っていたより速いタイムで走っていたり、良い笑顔が見られます。苦しいながらも最後まで走り切る姿に胸を打たれ、普段の生活ではなかなか感じられないような達成感を味わう事ができ、大会を終えた後の空気感が私はとても好きで、また来年も子どもたちの為に一緒に頑張りたいな、と感じます。

駅伝大会の次は、冬にマラソン大会が開催されます。駅伝大会が終わったばかりですが、次の目標に向かって、皆で一丸となって走り続けます。(児童課 二瓶)

みなみっこまつりを開催しました



今年のステージ発表は、乳児さんたちが赤、青、黄、緑の色に扮して、「どんな色が好き」を歌いました。それぞれの色で描いてくれた絵が集まって、大きくて素敵な絵が完成しました。皆のおかげで、とっても綺麗な絵が描けました!

バザーではおもちゃの車やぬいぐるみをゲット!抱えたり、かじったり、振り回したり、とっても喜んでいました。もらった時には、お店の人に「ありがとう」と伝えたり、ペコリとお辞儀したり、バイバイと手を振ったり、可愛くてたまらないですね。

他にも、「おもいやりの樹」に実を貼って、お菓子ももらいました。写真コーナーで写真を撮ったり、ボール入れや手形をペタペタスタンプしたりと色々なブースを楽しみました。お昼ご飯は熱いラーメンを一生懸命フーフーして食べたり、フライドポテトを子ども同士でシェアして食べました。食後は体力の続く限りお祭りを楽しみ、お兄さんお姉さんのダンスを見たりして過ごしました。職員、子ども、一緒に楽しい時間を過ごせました。(乳児課 早川)

職員紹介



10月からふうせんかずらの里親等相談支援員として配属されました村谷佐和子です。これまで乳児院や一時保護所などの保育士をしながら、いつかは里親支援のお仕事をしてみたいと思っていた。念願が叶ってあっという間の1ヵ月が過ぎ、日々勉強の毎日です。

関わっていく皆様に信頼してもらえるように頑張ります。どうぞよろしくお願いします。
(ふうせんかずら 村谷)

今年11月から健康管理課の職員として拝命致しました戸田京子です。子どもたちが心身ともに健やかに成長できるように子どもの気持ちに寄り添ったケアを行っていきたいです。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。
(健康管理課 戸田)

今年の9月から健康管理課の職員になりました平野美枝子です。

子どもたちが毎日元気に笑顔で過ごせるように心身の健康を支えていきたいと思っています。

ひとりひとりの背景や発達段階を理解し、その子のペースに寄り添ったケアができるように努めます。宜しくお願い致します。(健康管理課 平野)